

餅つき会



12月12日(木)、阿尾保育園で餅つき会が行われました。保育園の先生と子供たちが交互に餅をつきました。つきあがった餅をみんなでおいしくいただきました。



学童お楽しみ会

12月25日(水)、阿尾公民館で学童お楽しみ会がありました。楽しい一日になりました。



エアロビで準備運動



バルーンアートでボールを作って遊ぶ



好きな物をトッピングした手作りハンバーガーでおいしく会食

* 公民館主事の独り言

※参考資料 北日本新聞 令和6年12月8日発行



カタールが11年ぶりにJ2に復帰

サッカーのJ3カタール富山は、12月7日、県総合運動公園陸上競技場で行われた。J2昇格プレーオフ決勝で松本と2-2で引き分けた。規定により年間順位で上回るカタールが2014年以来、悲願のJ2復帰を決めた。

2023年、カタールは天皇杯でJ1京都に勝利した。最終戦で宮崎に6-0で圧勝した。1位・2位は無条件で昇格できるが、3位はプレーオフで優勝しなければならない。カタールは3位になったが、J2に昇格できなかった。

2024年、カタールはルビン・カップでJ1王者の神戸を破るなど、実力を付けてきた。J3のリーグ戦でもリードされていても逆転したり、引き分けに持ち込んだりして好成績を収め、3位になった。

リーグ戦の3位・4位・5位・6位で昇格プレーオフ(トーナメント戦)を行うことになった。初戦は、6位のFC大阪を相手に1-1の引き分け、規定により年間上位のカタールが勝利となった。決勝の相手は、年間順位4位の松本であった。前半2点リードされ、今年もダメかという雰囲気の流れだったが、後半35分碓井のヘディングで1点差とすると、追加タイムに碓井が再び頭で決めて引き分けに持ち込んだ。規定により、カタールのJ2復帰が決定した。

カタールのJ2復帰は、富山県民に勇気を与え、諦めないことの大切さを教えてくれたと思う。

○ 2月の講座案内

講座名	曜日	開設日	講師・責任者	時間	部屋
生け花 (池坊)	第1・3水曜日	2月は休講します。	西山栄津子	10:00～ 14:00	洋室
かな書道	第1・3月曜日	3日 17日	猶明 光華	13:00～	洋室
学童茶道& 百人一首	毎週木曜日	6日 13日 20日 27日	学童支援員	15:00～	和室
手芸	第3火曜日	18日	伏木あい子	13:30～	和室
潮華会(新舞踊)	毎週土曜日	1日 8日 15日 22日	大野 朝子	19:00～	和室
潮月会(新舞踊)	毎週金曜日	7日 14日 21日 28日	大野 朝子	13:00～	和室
囲碁サロン	毎週月・水曜日	3日 5日 10日 12日 17日 19日 24日 26日		13:30～	和室
フラダンス	第1・3月曜日	3日 17日	東軒みさ子	19:00～	和室
常磐会書道教室	第2・4土曜日	8日 22日	角 庸子	10:00～	洋室

○阿尾公民館からのお知らせ

・2月のふれあいランチは、阿尾地区及び指崎地区は、ありません。

○おらっちゃ風土記

※「氷見のことば」平成17年1月発刊 氷見市教育委員会 参照



『万葉集』に「あゆの風(あいの風)いたく吹くらし 奈呉の海人の釣りする小舟 漕ぎ隠る見ゆ」という歌がある。このように古くは奈良時代に登場し、大伴家持も「越のくにぶりことば」に記述している「アイノカゼ」は、北海道、青森県から山口県に及ぶ日本海沿岸地方の方言であり、氷見市では全域で使われている。主に海が荒れるときに吹く風と言われるが、地方によってその風向きは異なる。氷見市では、北東の風とし、「アイノカゼ」として親しまれている。

「アイノカゼ」は、もともと「アユの風」からきていることばである。語源については、「海に種々の珍しい物を打つ寄せる」という意味の「アユ」または、「アエル」ということばがあってそれを約束する風であるため、「アユの風」と名付けられたという。

「アイノカゼ」は、多大な自然の恵みをもたらすと共に、人々の心の交流をも生む風として親しまれていたからこそ、現在でも氷見に残っているのだろう。ことばには、郷土の歴史が秘められているのですね。